

ABOUT MIDAS CONSTRUCTION & BUILDING TECHNICAL SEMINAR.

MIDAS 技術講座・ユーザー事例発表会
ご登壇者募集

MIDAS 技術講座・ユーザー事例発表会 ご登壇者募集

技術・研究・解析事例を発信する機会

弊社では、建設・建築分野の技術者の皆様に有益な情報を提供することを目的として、各種技術講座やセミナー、技術コンテンツの制作・配信を行っております。

その中で、大学や研究機関など、研究・教育の場でご活躍されている先生方・研究者の皆様、ならびにMIDASプログラムをご活用いただいているユーザーの皆様による、専門分野の研究成果や解析事例、技術的な取り組みをご紹介いただく技術講座・ユーザー事例発表会（オンライン配信）を実施しております。

本技術講座・発表会では、研究成果や実務に基づく解析事例、技術ノウハウなどを実務に携わる技術者へ直接お届けすることで、技術者の課題解決や技術力向上に寄与する貴重な機会となるものと考えております。つきましては、研究成果や技術的知見、MIDAS製品を活用した解析事例などをご紹介いただける方を広く募集しております。

ご登壇をご検討いただける場合は、下記「お申し込みはこちら」ボタンより必要事項をご入力の上、お申し込みくださいますようお願い申し上げます。お申し込み後、技術講座やユーザー事例発表会の詳細や謝礼等につきましては、別途オンラインミーティングにてご説明申し上げます。

皆様からのご応募を心よりお待ちしております。

ご興味をお持ちいただけましたら、お気軽にお申し込みください。

ご登壇のメリット

1

研究成果の発信

建設・建築分野の技術者へ
広く発信いただき、
研究成果や解析事例を
紹介できます。

2

知見共有・交流

学術・実務双方の
知見共有を通じて、
建設・建築分野の発展に
寄与できます。

3

教育活動への活用

発表内容は教育・研究活動や
社内技術共有、
技術広報活動にも
ご活用いただけます。

4

謝礼あり

ご登壇いただいた方には
謝礼をご用意して
おります。

実施概要

開催形式	オンライン公開（お申し込み者限定公開）
発表形式	事前動画収録
発表時間	技術講座：60～120分程度（応相談） ユーザー事例発表会：15～30分程度（応相談）
開催時期	ご相談のうえ決定
事前打合せ	1～2回程度（Webミーティング）
謝礼	あり（詳細は別途ご案内）

皆様からのご応募を心より
お待ちしております。

事前打ち合わせを
申し込む ▼



Contents

Construction Technical Seminar List	01 - 10
Building Technical Seminar List	11 - 14
Construction & Building Technical Seminar (2026)	15

MIDASの技術講座・ユーザー解析事例発表会について

MIDASではこれまで、建築構造解析、地盤工学、土木構造物設計といった分野を対象に、多数の技術講座やユーザー発表会を継続的に開催してきました。

特に、建築や橋梁、地下構造物、斜面安定解析といった分野ごとに専門的な講座が用意されており、大学や研究機関に所属する教授陣や、実務で豊富な経験を持つ技術者を講師として招くことで、理論と実務の両面からの解説を実現しています。

ユーザー解析事例発表会では、MIDASプログラムを活用している技術者が自らの設計事例や工夫を紹介し、参加者同士の知見共有や技術交流の機会となっています。また、オンラインでの開催も積極的に行われており、遠隔地の技術者にも広く参加の機会が提供されています。

このような活動を通じて、MIDASはプログラムの活用支援にとどまらず、解析技術の実践的な知識を共有する場を提供し、利用者のスキル向上や業界内の情報共有を支援しています。

地盤FEM解析の必要性について

東北学院大学 教授 吉田 望 先生

地盤解析学、今後への期待-問題解決型から現象理解型へ I

神戸大学 教授 飯塚 敦 先生

被災ダム of 三次元解析について

農研機構フェロー 谷 茂 氏

地盤解析学、今後への期待-問題解決型から現象理解型へ II

神戸大学 教授 飯塚 敦 先生

耐震設計のための入力地震動 - 建築物の設計用地震動を例にとって

東京工業大学 教授 翠川 三郎 先生

軟弱地盤材料の構成パラメータ同定手法

中央大学 教授 太田 秀樹 先生

耐震設計と地震リスク-耐震性能を定量化する2つの手法

東京都市大学 教授 吉川 弘道 先生

鉄道RC高架橋の耐震設計について

公益財団法人 鉄道総合技術研究所 岡本 大 氏

地震応用解析について

東北学院大学 教授 吉田 望 先生

動的解析について

公益社団法人地盤工学会会長(当時) 東京大学 名誉教授 東畑 郁生 先生

土の動的性質のモデル化と地盤の有効応力解析

清水建設株式会社 技術研究所 上席研究員 福武 毅芳 氏

トンネル・地下構造物における数値解析

首都大学東京 教授 西村 和夫 先生

地下構造物における地震時の安定性とその評価における推知解析の役割

琉球大学 教授 藍檀 オメル 先生

降雨浸透に対する斜面安定評価手法に関する新しい考え方について

岡山大学 特任教授 西垣 誠 先生

地盤構造物の設計と解析の事例 -フィルダムを主な例として-

株式会社 共和技術コンサルタンツ 技術顧問 谷 茂 氏

臨海部産業施設の強靱化

早稲田大学 名誉教授 濱田 政則 先生

コンクリート構造物の補修・補強と安全性確保

首都大学東京 教授 宇治 公隆 先生

臨海部産業施設の強靱化

早稲田大学 名誉教授 濱田 政則 先生

土の締固めの原理・方法と設計への反映

東京大学 名誉教授・東京理科大学 嘱託教授 龍岡 文夫 先生

粘性流体モデルに基づく2次元及び3次元問題を対象とした液状化地盤の流動変形解析法

日本大学 理工学部 教授 小林 義和 先生

土構造物の実務的な安定解析における諸課題

東京大学 名誉教授・東京理科大学 嘱託教授 龍岡 文夫 先生

液状化現象メカニズム～設計注意点

東北学院大学 吉田 望 教授

地盤・構造物系の有効応力解析

清水建設株式会社 技術研究所 上席研究員 福武 毅芳 氏

斜面・トンネル 事故と対応

一般財団法人地域地盤環境研究所 代表理事・京都大学 名誉教授 足立 紀尚 先生

盛土の締固めにおける飽和度管理の重要性と締固め効果の設計での反映

東京大学 名誉教授・東京理科大学 嘱託教授 龍岡 文夫 先生

**実際の構造物変位・地盤変形、地盤調査、設計、施工を関連付けるための
正確な土の変形特性の把握の重要性**

東京大学 名誉教授・東京理科大学 嘱託教授 龍岡 文夫 先生

地盤の変形・破壊予測における構成モデルの大切さ

名古屋工業大学 名誉教授・中部大学 客員教授 中井 照夫 先生

道路橋付属照明柱の振動制御に関する解析的検討の事例紹介

関東学院大学 教授 北原 武嗣 先生

道路橋示方書改定と信頼性設計法

長崎大学大学院 教授 中村 聖三 先生

鋼橋設計の構造解析に関する2、3の話題

首都大学東京 客員教授 野上 邦栄 先生

セメント改良土の変形・強度特性 一本設利用のための検討—
東京大学名誉教授・東京理科大学 名誉教授 龍岡 文夫 先生

日本最北の工学部から—北海道東部のインフラを守るための構造解析
北見工業大学 准教授 宮森 保紀 先生

斜めケーブル形式橋梁のケーブル安全率の解析的考察
横浜国立大学 教授 勝地 弘 先生

トンネル工学における数値解析用物性値に決定とMIDASの利用例について
琉球大学 教授 藍檀 オメル 先生

膨張性トンネルの発生メカニズムと解析に必要な物性パラメータについて
株式会社ケンセイ 最高技術顧問 大塚 康範 氏

斜張吊橋の構造・耐風解析と長大化のための新構造形式
横浜国立大学 教授 勝地 弘 先生

ダム耐震解析事例紹介
大阪工業大学 特任准教授 藤本 哲生 先生

道路橋の地震被害分析
株式会社エイト日本技術開発 藤田 亮一 氏

連続体力学に基づく解析モデルの背景 -基本的構造とエネルギー関数の役割-
東北大学大学院 教授 京谷 孝史 先生

山岳トンネルの地震被害と耐震性について
公益財団法人深田地質研究所 副理事長 亀村 勝美 氏

大谷石の採石跡地下空間の有効活用への試み
宇都宮大学 准教授 清木 隆文 先生

地盤の地震応答解析のための試験法・液状化に伴う流動の解析
関東学院大学 教授 吉田 望 先生

補強土工法による盛土構造物の復権と発展
東京理科大学 名誉教授 龍岡 文夫 先生

橋脚の耐震設計:靱性設計vs.強度設計 -古きを温ね、新しきを知る-
東京都市大学 (日中コンサルタント 海外設計部長) 名誉教授 吉川 弘道 先生

2径間単純PC桁橋の動的解析による耐震補強検討
株式会社クレアテック 大滝 健 氏

3次元FEM解析を用いた重力式コンクリートダム耐震性能照査
株式会社エイト日本技術開発 藤田 亮一 氏

飽和度と剛性の管理に基づく盛土締固めの合理化(最近の動向)
東京理科大学 名誉教授 龍岡 文夫 先生

逆解析による軟弱地盤の変形予測
岡山大学 教授 西村 伸一 先生

清水寺と土砂災害-最近の境内斜面崩壊事例と現地モニタリング-
立命館大学 教授 深川 良一 先生

土木構造物の構造設計と耐震設計 -故きを温ねて新しきを知る-

東京都市大学 工学部 名誉教授 吉川 弘道 先生

midas FEAを用いたASR劣化したプレテンションPC桁の耐荷性能評価

琉球大学 工学部 環境建設工学科 教授 富山 潤 先生

性能設計時代の構造設計と耐震設計

東京都市大学(旧 武蔵工業大学) 名誉教授 吉川 弘道 先生

Load ratingを用いた道路橋維持管理 -海外基準の動向、ケーススタディ、関連する研究紹介

埼玉大学 理工学研究科 環境社会基盤部門 教授 奥井 義昭 先生

鋼橋の疲労

長崎大学大学院工学研究科 教授 中村 聖三 先生

トンネルの設計、施工と維持管理 - 時代の要請に応じた技術と数値解析 -

東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 教授 砂金 伸治 先生

弾塑性解析をマスターしよう

東北大学大学院 工学研究科 教授 京谷 孝史 先生

国土強靱化と耐震化技術

早稲田大学 名誉教授 濱田 政則 先生

おわんモデルと液状化解析

清水建設株式会社 技術研究所 福武 毅芳 氏

擁壁背面地盤補強工法の実用化に関する研究

報国エンジニアリング株式会社 小川 正宏 氏

材料科学と構造力学を統合するプラットフォーム

横浜国立大学 客員教授 教授 前川 宏一 先生

地盤内空洞の生成・拡大メカニズムと地盤陥没
東京大学 生産技術研究所 教授 桑野 玲子 先生

地盤の種類とそこで発生する地盤災害の特徴
東京電機大学 名誉教授 安田 進 先生

液状化による構造物の挙動とALIDの開発の経緯
東京電機大学 名誉教授 安田 進 先生

性能設計とは何か:その概念と適用例(港湾構造物の耐震設計)
神戸大学 都市安全研究センター 教授 長尾 毅 先生

コンクリート充填鋼管継手の疲労に関する研究事例
長崎大学大学院工学研究科 教授 中村 聖三 先生

FEA NX、midas NFXを用いた鋼構造物の解析事例
北見工業大学 社会環境系 助教 門田 峰典 先生

農業用ため池の改修工法としてのベントナイト混合土
高知大学 農林海洋科学部 教授 佐藤 周之 先生

ジオグリッド補強土壁の設計・施工・維持管理における数値解析の活用
前田工織株式会社 辻 慎一郎 氏

中層混合処理工法による盛土の安定対策CGI工法による設計
株式会社加藤建設 菅野 航太 氏

地中梁式門型支保工を用いた山岳トンネルの交点部の設計・施工
飛鳥建設株式会社 安 素賢(アン ソヒョン) 氏

地盤変状予測のためのシールド3次元逐次掘削解析手法の検討
リテックエンジニアリング株式会社 井出 香澄 氏

東日本大震災と能登半島地震で出された「液状化に関する課題と対応」
東京電機大学 名誉教授 安田 進 先生

3次元FEMモデルを活用したダム・建屋一体型発電所の耐震性能照査
株式会社エイト日本技術開発 傅 斌(フビン) 氏

非線形有限要素解析によるRC部材のせん断耐力評価
ナレッジフュージョン株式会社 福江 清久 氏

有限要素解析で押さえておくべき基礎的事項
九州工業大学 名誉教授 山口 栄輝 先生

有限要素法を用いたASR劣化したプレテンションPC桁の耐荷性能評価
琉球大学工学部工学科 社会基盤デザインコース 教授 富山 潤 先生

ブロックジベルを用いた合成梁における水平せん断力の算定事例
飛島建設株式会社 和田 和輝 氏

3径間PC橋梁の動的解析による桁衝突検討
株式会社クリアテック 稲場 友也 氏

鋼部材の座屈強度式とFEAのモデル化
長岡技術科学大学 環境社会基盤系 教授 岩崎 英治 先生

都市部土砂地山における住宅直下の山岳トンネル工法における解析事例
株式会社エイト日本技術開発 富田 哲平 氏

水道施設の3次元動的解析による耐震診断
株式会社クリアテック 高橋 宏充 氏

液状化現象を理解する：現象、設計と解析

関東学院大学 工学総合研究所研究員、東北学院大学 名誉教授・客員教授 吉田 望 先生

トンネルの設計、施工と維持管理 - 時代の要請に応じた技術と数値解析(その2)

東京都立大学 都市環境学部 都市基盤環境学科 教授 砂金 伸治 先生

鉄道直下のダブルパイプルーフ施工時における地盤挙動に関する数値解析

株式会社 地域 地盤 環境 研究所 髷田 孝宏 氏

めがねトンネルにおける支保構造と中央壁対策の検討・施工

岩田地崎建設株式会社 中村 和隆 氏

フィリピン国の橋梁耐震設計基準の概要およびMIDAS CIVILを用いた耐震設計事例

株式会社建設技研インターナショナル 大竹 弘晃 氏

MIDAS CIVILを用いた道路橋の地震被害分析

株式会社エイト日本技術開発 防災保全部 栗林 健太郎 氏

補強土壁の被災と維持補修

埼玉大学 名誉教授、ヒロセ補強土株式会社 顧問 桑野 二郎 先生

耐荷メカニズムから考える耐震設計

東京都市大学 名誉教授 吉川 弘道 先生

長大な2径間連続鋼下路トラス橋の床版打設ステップの検討

株式会社横河ブリッジ 亀川 博文 氏

既設盛土のり面補強対策に関する解析的検証

八千代エンジニアリング株式会社 加茂 由紀彦 氏

斜張橋を安全に長く使うための構造安全性に関する研究

秋田大学大学院理工学研究科システムデザイン工学専攻土木環境工学コース 青木 由香利 先生

建築基礎構造の継続使用性

広島工業大学 工学部 建築工学科 教授 金子 治 先生

場所打ちコンクリート杭の群杭効果の検証

株式会社フジタ 土佐内 優介 氏

自己昇降式作業台船(SEP船)スパッドカン貫入に伴う岸壁構造物への影響検討

株式会社ノム 松本 正士 氏

都市木造の構造計算

東京大学 生産技術研究所 教授 腰原 幹雄 先生

MIDAS iGEN×BIM:ST-Bridgeを介したデータ変換の実例紹介

戸田建設株式会社 久原 寛之 氏

MIDAS iGEN × 構造最適化

- バッチ解析とmodeFRONTIERとの組み合わせによる最適化設計手法の実例紹介 -

株式会社竹中工務店 稲葉 澄 氏

MIDAS iGEN × コンピューショナルデザイン:

RhinocerosとiGENを併用した設計プロセスの実例紹介

株式会社竹中工務店 内山 元希 氏

空間構造の構造設計

株式会社久米設計 河合 正理 氏

INN THE PARK福岡 - 球体テントの構造設計

浜田英明建築構造設計 | 法政大学 デザイン工学部 建築学科 教授 浜田 英明 先生

木造のCLT工法・縦ログ工法の構造設計

株式会社ANDO Imagineering Group 藤田 啓 氏

下石の通り所 - MIDAS iGENの木造新構法への適用事例紹介

TAPS建築構造計画事務所 | 大阪芸術大学大学院 教授 田口 雅一 先生

建築構造最適化の概要と将来展望

京都大学大学院工学研究科建築学専攻 教授 大崎 純 先生

構造デザイン「普通の中の特別」

富山大学 芸術文化学系 (人文社会芸術総合研究科長) 教授 大氏 正嗣 先生

太陽光発電所の解析と設計事例

マイダスイティジャパン 世田谷営業所 康 聖奎 (カン ソンキュ) 氏

応答制御構造の設計と最近の研究開発

明治大学 理工学部建築学科 准教授 富澤 徹弥 先生

鉄骨造の線材骨組みモデルによる解析事例

明治大学 理工学部建築学科 准教授 富澤 徹弥 先生

鴻池CSFP工法(帯塗くん)の技術開発における解析事例の紹介

株式会社鴻池組 伊藤 真二 氏

コンピューショナルデザインによる構造設計の実践とMidasの活用

株式会社ディックス、株式会社ラムダデジタルエンジニアリング 田村 尚土 氏

タッチ・アンド・フィール模型を活かした教育、研究、構造デザイン

明星大学 建築学部建築学科 准教授 松尾 智恵 先生

高層木造の世界的潮流と構造設計の勘所

京都大学 生存圏研究所 生活圏木質構造科学分野 教授 五十田 博 先生

MIDAS iGENを使った木造建物の設計 - 様々な使い方パターンを事例で見る -

株式会社ハフニウムアーキテクト 福山 弘 氏

3棟にまたがるガラス覆い鉄骨架構の設計

株式会社構造計画プラス・ワン 早稲倉 章悟 氏

逆問題を利用した木質構造の設計支援法について

立命館大学建築都市デザイン学科 教授 吉富 信太 先生

構造解析技術を用いた伝統木造建築の研究

東洋大学 理工学部建築学科 准教授 高岩 裕也 先生

伝統木造建築の構造解析

東洋大学 理工学部建築学科 准教授 高岩 裕也 先生

露出型柱脚部の基礎コンクリートの破壊メカニズムに関する解析的研究

岡山理科大学 工学部建築学科 教授 中西 啓二 先生

MIDAS iGENを用いた歴史的建築物の構造解析モデル化

関東学院大学 建築・環境学部 教授 高島 英幸 先生

建築における強非線形問題 – 未経験の問題への対応 –

東京工業大学 名誉教授 元結 正次郎 先生

MIDAS iGENを使った曲面屋根架構の設計 - 須磨シーワールド オルカスタジアム

株式会社竹中工務店 高山 直行 氏

MIDAS 座屈解析機能を用いた柱の設計活用例

株式会社MUSA研究所 大屋 章 氏

建築における非構造要素と数値解析 – 室内の安全性のために –

東京工業大学 名誉教授 元結 正次郎 先生

MIDAS iGENを用いたリングガーダー橋の構造デザイン

株式会社dos 代表取締役 山田 誠一郎 氏

HPシェル曲面屋根を有する木造の寺院建築の構造設計

株式会社清水良太構造デザインスタジオ 清水 良太 氏

サステナドーム

MIDAS iGENのコンピューティショナルデザインツールとの連携活用

鹿島建設株式会社 金子 寛明 氏

森になる建築

MIDAS iGENを用いた3Dプリンティングによる積層造形建築物の設計

株式会社竹中工務店 内山 元希 氏

シグネチャーパビリオンBetter Co-Being

株式会社大林組 大阪本店建築事業部 闘造設計部 中嶋 拓 氏

パナソニックグループ「ノモの国」ファサード 2社共同発表！

株式会社大林組 設計本部 構造設計部 山口 温弘 氏

株式会社構造計画研究所 構造設計部 細見 亮太 氏

薄板合わせ柱式木造ラーメンの構造デザイン — 長源寺の庫裏

株式会社村田龍馬設計所 村田 龍馬 氏

自由なフレーム計画・組立部材を採用した建物におけるMIDAS iGENの活用例

株式会社ジェーエスディー 千葉 陽一 氏

Construction

地震と豪雨による河川堤防の被害
東京電機大学 名誉教授 安田 進 先生

鋼圧縮部材の座屈設計の考え方と有効座屈長
東京都立大学都市環境科学研究科 野上 邦栄 先生

粒子法を用いた地盤の大変形解析に関する一連の研究
日本大学 工学部 土木工学科准教授 阿部 慶太 先生

2方向入力地震動に基づく構造物・地盤の耐震性能評価に関する研究
立命館大学 理工学部環境都市工学科 准教授 井上 和真 先生

Building

リユース可能な期限付き接合部
熊本大学大学院先端科学研究部 土木建築学科 准教授 黒岩 裕樹 先生

好文亭楽寿楼 耐震補強工事
株式会社 北茂紀建築構造事務所 北 茂紀 氏

建築における強非線形問題 — 未経験の問題への対応 —
東京工業大学 名誉教授 元結 正次郎 先生

板要素を用いた設計事例
株式会社坪井宏嗣構造設計事務所 坪井 宏嗣 氏

大スパンのフレーム・屋根の計画を採用した建物における
MIDAS iGENの活用例
株式会社ジェーエスディー 佐々木 卓也 氏

MIDAS

Construction Programs

MIDAS FEA NX

汎用線形、非線形地盤/構造解析・詳細解析

FEA NXは、最先端のプリ・ポストと解析機能を搭載した建築・建設分野における高度な解析を行うためのソリューションです。3D-CADデータインターフェイス、様々な解析機能、圧倒的に速い解析速度、優れたグラフィック表現および結果整理機能などを提供します。地盤解析、地盤-構造の相互作用を考慮した連成解析、補修・補強のための詳細解析はもちろん、マスコンの温度応力解析、コンクリートのひび割れ解析も行うことができます。

SOILWORKS

CAD感覚の2次元専用地盤解析ソフトウェア

SOILWORKSは、CAD感覚で使える直観的なプリ・ポストに、日本に特化した多数の解析機能を持つ、2次元地盤工学の総合ソリューションです。地盤変形、斜面、圧密、浸透、動解析といった地盤工学問題に必要な全ての機能を提供します。

SOILWORKS for FLIP

FLIP専用のプリ・ポスト

SOILWORKS for FLIPはFLIP「地震時の液状化による構造物被害予測プログラム」専用のプリ・ポストです。SOILWORKSの操作性をそのまま継承しており、AutoCAD感覚でデータを作成することができます。データ作成後は、FLIPを起動させ計算を実行することもでき、FLIP解析のための統合された作業環境を提供します。

SOILWORKS for LIQCA

LIQCA専用のプリ・ポスト

SOILWORKS for LIQCAはLIQCA専用のプリ・ポストです。SOILWORKSの操作性をそのまま継承しており、AutoCAD感覚でデータを作成することができます。データ作成後は、LIQCAを起動させ計算を実行することもでき、LIQCA解析のための統合された作業環境を提供します。

※ LIQCAは1987年京都大学の岡 二三生教授をはじめとするLIQCA開発グループにより開発された有効応力に基づく液状化解析プログラムです。

SOLIFLUK PE

河川堤防の液状化対策工設計

本製品は、東畑郁生名誉教授(東京大学)と小林義和教授(日本大学)による「液状化に伴う地盤の流動予測解析プログラム(SOLIFLUK(ソリフルーク))」の解析支援(データ入力処理、解析の実行、解析結果出力処理)を目的として作成されたSOLIFLUK FEをプラットフォームとして構成された河川堤防の液状化対策設計ソリューションです。本製品には、「河川堤防の液状化対策の手引き」(国立研究開発法人土木研究所、平成28年3月)に準拠した「対策工設計モジュール」が搭載されており、河川堤防における液状化対策工の諸元設定が実施できます。また、別途モジュール(近日公開予定)を追加することによって、ALID/FLIP/LIQCA等による耐震性能評価のためのデータ連携や、浸透流解析機能を使用した浸透安全性評価等が実施可能となることから、多角的な検討の省力化が可能となります。

